



—解脱会太陽精神碑—

かけはし

～ 新たな希望の道へ～

創立44周年記念館内大会

第1部記念式典 第2部学年別試合 第3部卒業生壮行会



★第1部記念式典★**中学卒業生には永久門下生証の楯、小学卒業生には記念のキーホルダーが贈られました**

3月13日の日曜日に少年から一般までの門下生と保護者の約300名が参加して創立44周年記念館内大会が開催されました。第1部は始めに創立以来、館の伸長、発展に多大なるご尽力を賜りました物故者に対し黙祷を捧げ、その後少年部の卒業表彰・高校・大学を卒業するOB門下生の紹介・最後に昇級者認定証の授与が行われ、厳粛に第一部が終了しました。

第2部の学年別試合では、一戦一戦、学年ごとに一年間の稽古の成果が充分発揮され、白熱した試合が展開

★第1部記念式典★**大学を卒業するOB門下生の代表**



★**高校を卒業するOB門下生の代表**



★ 第 2 部 学 年 別 試 合 ★



開会式での
一般部の皆さん
演武・木刀教室
代表 11名

されました。閉会式では、まず各学年の優勝・入賞者の表彰、その後大将交代式が行われ、大将・鈴木悠誠君から新大将・栗原千裕君に錬心館の歴史と伝統が受け継がれた大将の指揮刀が手渡され、新中学3年生を中心に新たなスタートが切られました。

第3部は卒業生壮行会が行われ、卒業生から先生方・仲間・家族への心温まる感謝の言葉と後輩達への激励の言葉と共に数々の思い出が紹介されました。また卒業生保護者からは、子供達の成長を喜び、錬心館への感謝の気持ちが込められた優しい歌声とメッセージが贈られ、後輩中学生からは、この日の為に皆で気持ちを一つにして作った特大のメッセージと共に、涙・涙の歌のプレゼントがありました。そして卒業生保護者より謝辞があり、壮行会最後には、館長先生より卒業を祝い、はなむけのお言葉と、式典で撮影した記念写真が一人一人に手渡されました。卒業生は全員の先生方に激励の握手を戴きつつ、後輩達と保護者で作った花道を盛大な拍手で送られ、新たな道のりへ旅立って行きました。最後にご協力下さいました先生方・一般部・後援会の皆様から心から感謝申し上げます。ありがとうございました。

行事予定

《5月》



○ 館の行事

- 8日(日) 解脱会春季大祭参加(全門下生・10時集合～13時半終了予定)
15日(日) 後援会主催親子レクリエーション
《場所》清水公園 フィールドアスレチック(千葉県野田市)
《集合》午前7時30分(時間厳守)
※雨天時 茨城県自然博物館(坂東市)
- 22日(日) 剣道体験教室(13時30分～14時30分)

※稽古活動休み 3日(火)・4日(水)5日(木)祝日の為
6日(金)～7日(土)解脱会春季大祭の為

少年部合同稽古会(少年部全門下生)

5月6日(金) 17時30分～19時 会場 北本中体育館

北本中学校に駐車はできませんので錬心館駐車場を利用し会場まで徒歩で移動をお願い致します。
(路上駐車が必ず無いようお願い致します)

一般部合同稽古会(一般・ママ剣・木刀)

5月7日(土) 20時～21時 会場 北本東中学校

○ 大会・審査会

- 1日(日)2日(月) 八段審査会(一般・京都市立体育館)
2日(月)～5日(木・祝) 第112回全日本剣道演武大会(一般・京都武徳殿)
3日(火)～5日(木・祝) 東日本少年剣道交流錬成大会(小中代表・富士川町民体育館)
14日(土) 南部地区剣道交流大会(一般・大宮武道館)
14日(土)15日(日) 七段、六段審査会(一般・名古屋市スポーツセンター)
21日(土) 第25回埼玉県高齢者剣道大会(午前・一般・大宮武道館)
21日(土) 第20回埼玉県女子剣道選手権大会(午後・一般・大宮武道館)
28日(土) 第34回剣道旗争奪少年剣道大会(小中代表・茨城県武道館)
29日(日) 第71回国民体育大会成年の部予選会(午前・一般・県立武道館)
29日(日) 第58回全国教職員剣道大会予選会(午後・一般・県立武道館)



○ 受入行事

- 7日(土)8日(日) 第168回解脱会春季大祭(解脱会)

《6月》

○ 館の行事

- 11日(土) 剣道体験教室(剣道祭の中でチャンバラ大会を行います!)

○ 大会・審査会

- 4日(土) 第43回埼玉県道場少年剣道大会(小中代表・戸田市スポーツセンター)
5日(日) 段位審査会・初～三段(熊谷市民体育館)
※学校剣道部所属者以外は直接錬心館に申込みのこと。
9日(木) 埼剣連月例稽古会(県立武道館)
11日(土) 第33回北本市民剣道祭(午後・小、中、高、一般・解脱錬心館)
11日(土) 南部地区稽古会(一般・大宮武道館)
19日(日) 第61回知事杯争奪剣道大会(小中代表・大根町文化体育館)
19日(日) 第63回埼玉県民警親睦剣道大会(一般・県立武道館)
25日(土) 第11回埼玉県道場少年剣道選手権大会(小中代表・戸田市スポーツセンター)

○ 受入行事

- 11日(土) 第33回北本市民剣道祭(午後・北本市剣道連盟)

★ 三部・卒業生壮行会 ★

★ 大将交代式 ★



鈴木悠誠君から新大将の栗原千裕君に指揮刀が引継がれ、固い握手が交わされた



館長先生より卒業生へ贈るお言葉を頂きました。



保護者謝辞 代表 鈴木 文さん



卒業生保護者によるコーラス！
～空も飛べるはず・旅立ちの日に～



特大のメッセージと共に涙・涙の歌のプレゼント！後輩中学生から、先輩達に「思いを伝えよう！」を合言葉に沢山練習してきました。
「～道～」(EXILE) 「～栄光の架橋～」(ゆず)



卒業生から錬心館・先生方・家族に感謝の気持ちを込めて「仰げば尊し」の合唱！

卒業おめでとう！

★ 卒業記念写真 ★



最後は先生方と硬い握手！
参加者全員で卒業生を見送り、
涙・涙の旅立ち！
自分を信じて希望の道へ
大きく羽ばたけ！
頑張れ卒業生！！

～お知らせ～

☆入門おめでとうございます-----

小4	おおのりょう 大野 嶮	小1	いけだ えいすけ 池田 英右
小1	なかおとみや 中尾 友哉	小1	ひぐち ゆか 樋口 侑花
年長	おおのかつき 大野 勝輝	年長	たかはし かいと 高橋 快和
年長	ちば そうすけ 千葉 湊介		



☆昇段おめでとうございます-----

三段 新島 陣 (一般)

—平成28年2月14日取得—

☆大会通信

2月 ★東日本如月剣道大会 (群馬)



中学女子 準優勝
大泉・谷口・小嶋・若松
小学低学年 第3位
内村・田中・関根

★小鹿野町少年剣道大会 (小鹿野)



小学1・2年男子の部 優勝 伊藤健太
小学1・2年女子の部 優勝 柳 瑠里
小学3・4年女子の部 第3位 大西真尋
小学5・6年女子の部 第3位 久保田葵

3月 ★全国選抜少年剣道錬成大会 (水戸)



敢闘賞 2チーム入賞 (試合場3位)
解脱 柳・池田・関根・高野・済藤
北本 小嶋・友清・荒井・大野・岡部
日置・及川・関根・内村

3月遠征スナップ写真 (京都・茨城)



京都遠征 (中学生)



茨城遠征 (小学生)

編集後記

先日の館内大会では多くの方々にご参加、お手伝いを頂きありがとうございました。皆様卒業門下生は自分を信じて新たな道のりへ旅立って行きました。OB諸君が益々成長し、また会う日を楽しみにしています。

4月に入り新たな出会い、48期生が入門致しました！
さあ～道場日本一を目指して皆で頑張りましょう！(Y)

けん 剣の 敵 え 96

われいがいみなしなり
～ 我以外皆師也 ～

館長 田中 宏明

新年度を迎えて

◆桜の季節となった。御霊地のお山と錬心館を繋ぐ陸橋の上から見下ろす満開の桜は実に美しい。普通桜は見上げて観るものだが、錬心館の桜は見下ろして観ることができる珍しくも有り難い桜なのである。◆早いもので、創立44周年記念館内大会から一月が経過した。毎年の事ながら送られる門下生と送る門下生、先輩後輩、先生、保護者が一つになって涙・涙の壮行会となった。あの日、あんなに幼なかったあの子供達が、今日はこんなにも逞しく、そして他人の痛みが理解できる、謙虚で思いやりのある人として成長してくれた。努力することの大切さ、努力出来る幸せを知り、そして努力して努力して努力しても尚、思い通りにはならないことがある事も知り、しかし決して諦めることなく、全て自分のこととして受け止めて前に進んでいく強さと勇気を培った子供達。その成長を常に大きな心で見守ってこられた保護者の皆さんに、深く敬意と感謝を表する次第である。◆先日、ある先生から道場に通う70歳を過ぎた男性が五段に挑戦すること50数回で見事昇段されたという話を聞いた。一年に3回受審するチャンスがあるが毎年3回受けたとしても17年。少なくとも20年近く受け続けられたと思われる。大変なお祝いムードに溢れる中、当のご本人は、喜びよりも驚きの方が強かったようで「受け続けるもんだなあ～」と、自分でも信じられない結果に啞然としていたと話されていた。稽古をして審査を受けて結果は不合格。これが当たり前のことになり、その残念な当たり前のことを20年の長きに亘って繰り返しているうちに当たり前が当たり前ではなくなってしまった。と同時に、費やした多くの時間と努力が決して無駄ではなかった事を自らの竹刀で証明されたのだ。◆どの分野においても最初から最後まで順風満帆な人はいない。柔道五輪三連覇の偉業を達成した野村忠宏選手は、中学1年生の最初の試合で女子選手に投げ飛ばされたそう。ミスタープロ野球の長嶋茂雄氏も中・高・大・プロの初打席でいずれも三振していると、ある新聞にあった。同じ中学生の女子に投げ飛ばされた野村選手は、その時どんな気持ちで審判の「一本」の声を聞いたのだろうか。新しい環境で迎えた記念すべき初打席でその度に三振に倒れては、決して幸先が良いスタートとは言えない。どちらにしても、その後の大活躍からは想像もつかない厳しい現実があったことに間違いはない。◆昨今の特に若い人の間では、失敗することは悪い事、恥ずかしい事だという捉え方をする人が多く、だから何事にも消極的で失敗しない無難な道を選ぶような風潮が見受けられる。失敗したからこそ分ることがあり、負ける経験を通して勝つということの喜びとその難しさも理解できるようになる。勝ちも負けも表裏一体、その後先に学ぶべき大切なものがある。「失敗は成功のもと」新年度を迎え、改めて門下生諸君に心からのエールを送る！！